

英語科学習指導案

日 時：平成 29 年 12 月 11 日（月）3 校時

学 級：名護市立大宮中学校 1 年 2 組

男子 15 名 女子 16 名 計 31 名

授業者：金城 友也

1. 単元名 ①NEW HORIZON BOOK 1, Daily Scene 4 “ウェブサイト”
②ヒントクイズを通して書く力をつけよう

2. 単元目標

- (1) 人物表現に必要な言語材料や正しい文構造を使い、英語で文を書くことができる。
- (2) 人物を表現する 3 文以上の英語を書き、発表することができる。
- (3) 協働学習における訂正活動で、コミュニケーションを図ろうと取り組む。

3. 単元について

(1) 教材観

この単元は、大きく 2 つの構成に分かれている。1 つは、ユンホの誕生日パーティをきっかけに、学校生活にも慣れ友達も増えてきたエリカが、仲間と一緒に自分たちの学校を紹介するウェブサイトを作るという場面である。ここでは、学校の所在地や創立年数、生徒数、教員数そして学校行事について情報を整理し、英語での表現方法を学んでいく。言語材料として、名詞の複数形や be 動詞と一般動詞を使って学校の特徴を紹介する文など、日常的によく使われる表現が多く含まれている。

もう 1 つは、英語でヒントクイズを作成することを目的とした発展学習である。マッピングにより人物の特徴を捉えるよう思考したり、「誰が・する・何を」という英語的語順を意識させ単元を進めていく。また本単元は、小学校からこれまでに学習してきた言語材料や表現において、理解が不十分であった内容の復習や基礎固めとなる書く活動での有効な教材と捉え、活用していく。

(2) 生徒観

事前に行った英語学習に関する生徒のアンケート結果から、仲間と協働学習することについて 94%が自分の英語学習に効果的だと肯定的にとらえている。授業においてもこの学級はグループやペアで話し合う活動が最も活発である。一方で、英語の 4 技能の内「書くこと」について「苦手な方」と答えている生徒が 77%いる。実際に書く活動において困難だと捉えている項目として、英語のスペルや語順、疑問詞、単語がとても高く、定期テストの観点別評価の表現結果においてもそれが表れている。

こうしたことから、書くことへの苦手意識をより良く改善すべく、工夫した書く活動への取り組みが求められてくると感じる。

(3) 指導観

新中学校学習指導要領外国語の内容「書くこと」で「ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。」とある。本単元では、生徒の書く力を「人物表現や疑問文を英語の正しい文構造で書く力」とし、個人活動やペア・グループ活動を通して育成するものとする。書く活動といったアウトプット活動にはその前提にインプット活動が

重要であることから、帯活動におけるインプットを下記の表の内容を行っていく。

	活動目的	活動方法	指導の留意点
1	既習語彙や表現に慣れる	【 Listen & Repeat 】 教師や生徒の発音の後皆で繰り返す	意識した練習となるよう1人ずつ発音し、みんながリピートする変化を加える
2	教師によるヒントクイズを楽しみながら、目標となるモデルを理解する。	【 3 Hint Quiz 】 教師のヒントクイズに挑戦しながら、文構造について理解する。	受け身なヒントの与え方にせず、リピートさせながら楽しませる。

また書く活動への苦手意識が高いことから、2つの手立てを指導の柱とする。第1に、生徒の意欲が高い協働学習を活かし、生徒同士で訂正箇所を見つけ修正する活動（ピア・コレクション）を、書く力を高める手立てとして取り組ませていく。そして第2に、ゲーム性を含んだ活動にすることで生徒は意欲的になることから、3ヒントクイズを活用した書く活動に取り組みせる。ヒントクイズは、工夫を加えることで下記のように疑問文や否定文にしたり、グループ活動にすることが容易なことから、そのゲーム的要素を利用し、自分の考えを書いて表現できたという成功体験と自信をつけさせ、他の「読むこと」「聞くこと」「話すこと」への意欲と学力の向上につながる指導としたい。

4 指導計画と評価方法

1. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2. 外国語表現の能力	3. 外国語理解の能力	4. 言語や文化についての知識・理解
ペアやグループでの訂正活動やヒントクイズ活動に意欲的に取り組んでいる。	これまで習った語彙や表現を使って英文を書き、発表することができる。	仲間の作成した学校紹介やクイズのヒント文を聞いたり読んだりして理解することができる。	人物表現に必要な語彙や表現、文構造が理解でき、英文作成で使うことができる。

時間	ねらい	学習活動	【観点】評価規準（評価方法）
1	○学校紹介のモデル文が読め、学校について紹介するときに必要な表現が理解できるようにする。	・P90にある学校紹介について読み理解する。 ・P90の学校紹介をモデルに、大宮中学校の特徴をブレインマップにまとめ、英文で書く。	・学校について紹介するときに必要な表現が理解できる【理解】 （観察・ワークシート）
2	○書いた英文を仲間同士や教師による添削の流れを学び、完成した学校紹介文が発表できるようにする。	・仲間同士でピア・コレクションし、教師の添削で英文を完成させる。 ・清書し、全体で自分なりの学校紹介をする。	・完成した学校紹介文が発表できる。【表現】 （観察・ワークシート）
3	○クイズ作成に必要な人物の特徴をブレインマップで視覚化し、インプットした言語材料で工夫しながら英文が書けるようにする。	・帯活動で、既習語彙や表現をリピート復習する。 ・第1の人物テーマ表現に必要な特徴をマッピングする。 ・マッピングした表現材料でヒント英文を書く。	・ブレインマップで表現し、3文以上英語で書くことができる。【知識・理解】 （観察・ワークシート）
4	○書いた英文をピア・コレクションする流れを学び、正しい文構造で表現したい英語によるヒント文が書けるようにする。	・ペアで協力して英文で書き、グループ内でフィードバックを行い、教師の添削を受ける。 ・第2の人物テーマ表現に必要な特徴をマッピングし、ヒント英文を書く。	・ブレインマップで表現し、3文以上英語で書くことができる。【知識・理解】 （観察・ワークシート）
5	○書いた英文をピア・コレクションする流れを学び、正しい文構造で表現したい英語によるヒント文が書けるようにする。	・ペアで協力して英文で書き、グループ内でフィードバックを行い、教師の添削を受ける。 ・第3の人物テーマ表現に必要な特徴をマッピングし、否定文でヒント英文を書く。	・ブレインマップで表現し、3文以上英語で書くことができる【知識・理解】 （観察・ワークシート）

6	○正しい文構造で表現したい英語によるヒント文を否定文で書き、表現できるようにする。	・ペアで協力して英文で書き、グループ内でフィードバックを行い、教師の添削を受ける。 ・これまで作成した英文をボールペンで清書し、発表練習を行う。	・3文以上否定文で書くことができる。【知識・理解表現】（観察・ワークシート）
7	○3ヒントクイズを発表し合いながら様々な表現を学び、ヒント文を疑問文にして書けるようにする。	・作成してきた3ヒントクイズを発表し合い、様々な表現を学び合う。 ・スクリーンに発表後のシートを映し、ヒント文を疑問文に変えるライティング活動を学ぶ。	・正しい発音と流暢さで発表できる。【表現】 ・聞こえる声量でペアで進行ができる【関心・意欲・態度】
8	○3ヒントクイズを発表し合いながら様々な表現を学び、ヒント文を疑問文にして書けるようにする。	・作成してきた3ヒントクイズを発表し合い、様々な表現を学ぶ。 ・スクリーンに発表後のシートを映し、ヒント文を疑問文に変えるライティング活動を学ぶ。	・正しい発音と流暢さで発表できる。【表現】 ・聞こえる声量でペアで進行ができる【関心・意欲・態度】

5. 本時の学習指導（8／8時間）

(1) 本時の目標（Today's Goal）

自分たちで進行を行い、英語のヒントクイズを仲間に出題することができる。

(2) 本時の評価規準

項目		評価基準	評価		
			A	B	C
関心・意欲・態度	声量	A 全体に聞こえる声量 B やや聞こえずらい声量 C あまり聞こえない声量	3	2	1
	進行	A ペアで協力し、英語で進行できる。 B 間が開くが、進行ができる。 C 教師のサポートで進行できる。	3	2	1
表現	発音	A 正しい発音で出題できる。 B ややミスがあるが出題できる。 C 発音のミスが多い。	3	2	1
	流暢さ	A すらすらと英語で出題できる。 B 間があくが、英語で出題できる。 C 間があり、ペアの助けを必要とする。	3	2	1
総合評価		A:12～10点 B:9～6点 C:5～0点	Total 点		

(3) 本時の展開（8時間目）

	指導過程	学習活動		指導上の留意点	評価の観点及び方法
		生徒の活動	教師の活動		
導入 3分	1. Greetings (3 min)	・挨拶と日付、今日の目標を確認する。	・活動の支援	・ペアで握手させ協働意識を高めさせる	

展 開 45 分	2. Activity (1) 活動の流れ確認 ① ヒントクイズの 進め方の確認 ② 評価方法の確認 (5 min)	・ ヒントクイズの楽しみ方 と進め方、評価について、 必要な手順と説明を確認 する。	・ 楽しみながら学ぶとと もに、評価につながる 活動であることを共通 確認して説明する。	・ 発表者が進めやす い雰囲気を全体で 作るよう促す。生 徒の理解を確認し ながら説明する。	
	(2) Presentation Practice (5 min)	・ ペアで協力し、クイズの 発表方法を工夫しながら 最後の練習をする。	・ 机間指導しながらアド バイスを行う。	・ 評価ポイントを意 識するよう声かけ する。	
	(3) Presentation (3 ヒントクイズ) (25 min)	【ヒントクイズを出題するペア】 ・ 全て英語で進行 & 3 ヒントクイズを出題する ・ 当たっても残りのヒントまで紹介する。 ・ 評価ポイント(進行・声量・発音・流暢)を意識する 【ヒントクイズにチャレンジする全解答者】 ・ 「Yes, let's!」「We don't know. Tell me more.」でク イズの雰囲気を作って楽しもう。 ・ 思った答えは積極的に手を挙げ、伝えてみよう。 ・ 終了後、評価とコメントを書いてあげよう。		・ 私語に注意させ、 全体発表を意識し て時間を使うよう 促す。	言語活動の観察 【関心意欲態度】 発表評価 【表現】
	(4) Group Work (Question大魔王) (10 min)	・ グループで協力し、ヒン ト文(肯定文)を疑問詞・ Do/Does・be動詞を使った 疑問文にする。	・ 生徒のヒントクイズを 活用し、疑問文を作ら せ、既習表現を復習さ せる。	・ 連続したクイズで マンネリ化しない ようこの活動を適 時に行う。	
	3. 本時のReview 4. 次回予告 (2 min)	・ 自己評価表に学習した疑 問文を1文書いて復習す る。	・ ヒントクイズの内容(誰 が・する・何を)や発 表方法について振り返 る。	・ 発表指導が必要な ペアは、休み時間 や放課後の指導で 支援する。	自己評価表による 英文と感想 【関心意欲態度】

(4) 板書計画

Today's Goal : 自分たちで進行を行い、ヒントクイズを仲間に出題することができる。					今日の英文 覚えたい疑問文を書いてみよう
Day Date Weather	① Is this a vacation?	③ What does Ms. Ishimine give?	④ What does Mr. Nerome need?	⑤ What does Ms. Maeda eat?	
	② Does Mr Kinjo go to Gokokujinjya shrine?	③ What does Ms. Ishimine give?	④ What does Mr. Nerome need?	⑤ What does Ms. Maeda eat?	

6. その他全検証授業の本時の展開（3時間目の検証授業は報告書に記載）

（1）本時の展開（1時間目）

	指導過程	学習活動		指導上の留意点	評価の観点 及び方法
		生徒の活動	教師の活動		
導入 13分	1. Greetings (3 min)	・Wh-を使ってペア同士 でのあいさつ	・活動の支援	・ペアで握手させ協働 意識を高めさせる	
	2. Warming-up (1)Review(5 min)	・色・形・動詞など既 習語句を発音練習する	・語句カードの提示	・単調にならぬようリ ズムで一人数ずつみんな がリピートする	
	(2)3 Hint Quiz (5 min)	・楽しみながらクイズ の表現を視聴覚イン プットする。	・ヒントクイズを行い 様々な表現をモデル 提示する。	・受け身にならぬよう ヒント文をリピート 発音させながら進め る。	
展開 35分	3. Activity (1)P90の学校紹介 の読解 (5 min)	・音読練習をしながら、そ の意味と表現方法につ いて学ぶ。	・スピードの強弱を入れ た音読練習を入れなが ら、内容読解と文構造 について指導する。	・質問により生徒の理 解を確認しながら説 明する。	
	(2)タスク活動 ①目標と活動の流 れの確認 ②4 ルールの確認 (10 min)	・ウェブサイト作成の課題 に必要な手順と説明を 再確認する。	・ワークシートにブレ インマップと英文の下書 きの作成指導を行う。	・私語に注意させ、全 体発表を意識して 時間を使うよう促 す。	1－言語活動 の観察 2－ワークシ ートのチェッ ク
	(3) Pair Work (5 min)	・P90を参考に、大宮中学 校を紹介するブレインマ ップと6つの英文を作成 する。	・机間指導	・辞書や教科書を活用 させ、主体的に取り 組めるよう指導す る。	
	(4))Teacher's Correction (15 min)	・先生に添削してもらい、 訂正コードの書かれた 部分をペアで協力して 直す。	・机間指導し、色々な主 語や動詞を活用して表 現を豊かにするよう促 す。	・答えを教えないよう 協働で学習し訂正 できるようにさせ る。	
まとめ 2分	4. Review and Homework 5. 次回予告 (2 min)	・自己評価表に学習した表 現を1文書いて復習す る。 ・次時までにP91にペンで 清書する宿題の確認	・次時に発表と疑問文に する活動を伝える	・添削が終わっていない 生徒は、休み時間や 放課後の指導で支 援する。	1－自己評価 シートのチェ ック

(2) 本時の展開 (2 時間目)

	指導過程	学習活動		指導上の留意点	評価の観点 及び方法
		生徒の活動	教師の活動		
導 入 13 分	1. Greetings (3 min)	・ Wh-を使ってペア同士 でのあいさつ	・ 活動の支援	・ ペアで握手させ協働 意識を高めさせる	
	2. Warming-up (1) Review (5 min)	・ 色・形・動詞など既 習語句を発音練習する	・ 語句カードの提示	・ 単調にならぬようリ ズムで一人ずつみんな がリピートする	
	(2) 3 Hint Quiz (5 min)	・ 楽しみながらクイズ の表現を視聴覚イン プットする。	・ ヒントクイズを行い 様々な表現をモデル 提示する。	・ 受け身にならぬよう ヒント文をリピート 発音させながら進め る。	
展 開 35 分	3. Activity (1) タスク活動 ① 目標と活動の流れの確認 ② 4 ルールの確認 (5 min)	・ 作成したウェブサイト を疑問文にするのに必要 な手順と説明を確認す る。	・ 疑問文の作成について の手順を説明する。	・ 質問により生徒の理 解を確認しながら説 明する。	
	(2) Pair Work (10 min)	・ 作成した学校紹介文をペ アで協力して疑問文に し、ワークシートに書く。	・ ワークシートに疑問文 の下書きの作成指導を 行う。	・ 私語に注意させ、全 体発表を意識して 時間を使うよう促 す。	1 - 言語活動 の観察 2 - ワークシ ートのチェッ ク
	(3) Presentation (5 min)	・ ペアで質問と答える側に 分かれ練習後、発表し表 現を習得する。	・ 机間指導と評価を行う。	・ 辞書や教科書を活用 させ、主体的に取り 組めるよう指導す る。	
	(4) Teacher's Correction (15 min)	・ 先生に添削してもらい、 訂正コードの書かれた 部分をペアで協力して 直す。	・ 机間指導し、色々な主 語や動詞を活用して表 現を豊かにするよう促 す。	・ 答えを教えないよう 協働で学習し訂正 できるようにさせ る。	
ま と め 2 分	4. Review and Homework 5. 次回予告 (2 min)	・ 自己評価表に学習した表 現を1文書いて復習す る。 ・ 次時までにP91にペンで 清書する宿題の確認	・ 次時に発表と疑問文に する活動を伝える	・ 添削が終わっていない 生徒は、休み時間や 放課後の指導で支 援する。	1 - 自己評価 シートのチェ ック

(3) 本時の展開 (4 時間目) 『ペアで学校紹介にチャレンジしよう』

	指導過程	学習活動		指導上の留意点	評価の観点 及び方法
		生徒の活動	教師の活動		
導入 13 分	1. Greetings (3 min)	・ Wh-を使ってペア同士 でのあいさつ	・ 活動の支援	・ ペアで握手させ協働 意識を高めさせる	
	2. Warming-up (1) Review (5 min)	・ 色・形・動詞など既 習語句を発音練習する	・ 語句カードの提示	・ 単調にならぬようリ ズムで一人数ずつみんな がリピートする	
	(2) 3 Hint Quiz (5 min)	・ 楽しみながらクイズ の表現を視聴覚イン プットする。	・ ヒントクイズを行い 様々な表現をモデル 提示する。	・ 受け身にならぬよう ヒント文をリピート 発音させながら進め る。	
展開 35 分	3. Activity ①目標と活動の流れの確認 ②4 ルールの確認 (5 min)	・ ヒントクイズ作成の課題 に必要な手順と説明を 再確認する。	・ 黒板やPCを使い、指示 が多くなり過ぎないよ う重要なポイントを共 通確認する。	・ 質問により生徒の理 解を確認しながら説 明する。	
	(2) Group Work① Peer Correction (10 min)	・ 2 ペアでヒントクイズを 行い、互いに訂正やアド バイスを行う。	・ 机間指導し、色々な主 語や動詞を活用して表 現を豊かにするよう促 す。	・ 私語に注意させ、全 体発表を意識して 時間を使うよう促 す。	1 - 言語活動 の観察 2 - ワークシ ートのチェッ ク
	(3) Peer Correction (5 min)	・ 再度手直しし、教師に提 出する。	・ 机間指導	・ 添削用を提出させ新 しいヒントクイズ作 成に向かうよう声か けする。	
	(4)) Pair Work② Peer Correction (15 min)	・ 宿題で作成したブレイン マップ②と既習表現を 使い、新たなヒント文を ペアで協力し英語で作 成する。	・ 机間指導し、色々な主 語や動詞を活用して表 現を豊かにするよう促 す。	・ 調べて分かることは 辞書や教科書を活 用させ答えを与えな いようにする。	
まとめ 2 分	4. Review and Homework 5. 次回予告 (2 min)	・ 自己評価表に学習した表 現を1文書いて復習す る。 ・ ブレインマップ③作成の 宿題の確認	・ 新しい人物カードを提 示し、新しいブレイン マップ③作成の宿題を 支持する。	・ 次時のグループ内発 表に向けた準備を 意識づけする。	1 - 自己評価 シートのチェ ック

(4) 本時の展開 (5 時間目) 『ピアコレクションでヒントクイズPart 1 を完成させよう。』

	指導過程	学習活動		指導上の留意点	評価の観点 及び方法
		生徒の活動	教師の活動		
導入 13 分	1. Greetings (3 min)	・ Wh-を使ってペア同士 でのあいさつ	・ 活動の支援	・ ペアで握手させ協働 意識を高めさせる	
	2. Warming-up (1) Review (5 min)	・ 色・形・動詞など既 習語句を発音練習する	・ 語句カードの提示	・ 単調にならぬようリ ズムで一人ずつみんな がリピートする	
	(2) 3 Hint Quiz (5 min)	・ 楽しみながらクイズ の表現を視聴覚イン プットする。	・ ヒントクイズを行い 様々な表現をモデル 提示する。	・ 受け身にならぬよう ヒント文をリピート 発音させながら進め る。	
展開 35 分	3. Activity ① 目標と活動の流れの確認 ② 4 ルールの確認 (5 min)	・ ヒントクイズ作成の課題 に必要な手順と説明を 再確認する。	・ 黒板やPCを使い、指示 が多くなり過ぎないよ う重要なポイントを共 通確認する。	・ 質問により生徒の理 解を確認しながら説 明する。	
	(2) Group Work ② Peer Correction (10 min)	・ 2 ペアでヒントクイズを 行い、互いに訂正やアド バイスを行う。	・ 机間指導し、色々な主 語や動詞を活用して表 現を豊かにするよう促 す。	・ 私語に注意させ、全 体発表を意識して 時間を使うよう促 す。	1 ー 言語活動 の観察 2 ー ワークシ ートのチェッ ク
	(3) Peer Correction (5 min)	・ 再度手直しし、教師に提 出する。	・ 机間指導	・ 添削用を提出させ新 しいヒントクイズ作 成に向かうよう声か けする。	
	(4)) Pair Work ③ Peer Correction (15 min)	・ 宿題で作成したブレイン マップ③と既習表現を 使い、新たな否定文のヒ ント文をペアで協力し英 語で作成する。	・ 机間指導し、色々な主 語や動詞を活用して表 現を豊かにするよう促 す。	・ 調べて分かることは 辞書や教科書を活 用させ答えを与えな いようにする。	
まとめ 2 分	4. Review and Homework 5. 次回予告 (2 min)	・ 自己評価表に学習した表 現を 1 文書いて復習す る。 ・ ヒントクイズ③を清書し 提出する宿題の確認	・ 新しい人物カードを提 示し、新しいブレイン マップ③作成の宿題を 指示する。	・ 次時のグループ内発 表に向けた準備を 意識づけする。	1 ー 自己評価 シートのチェ ック

(5) 本時の展開 (6 時間目) 『ピアコレクションでヒントクイズPart2を完成しよう。』

	指導過程	学習活動		指導上の留意点	評価の観点 及び方法
		生徒の活動	教師の活動		
導入 13分	1. Greetings (3 min)	・ Wh-を使ってペア同士 でのあいさつ	・ 活動の支援	・ ペアで握手させ協働 意識を高めさせる	
	2. Warming-up (1) Review (5 min)	・ 色・形・動詞など既 習語句を発音練習する	・ 語句カードの提示	・ 単調にならぬようリ ズムで一人ずつみんな がリピートする	
	(2) 3 Hint Quiz (アンチ大魔王 ライティング) (5 min)	・ 楽しみながらクイズ と疑問文にするゲー ムで表現を視聴覚イ ンプットする。	・ ヒントクイズ後に、 これを疑問文にする ゲームを行う。	・ 受け身にならぬよう ヒント文をリピート 発音させながら進め る。	
展開 35分	3. Activity ①目標と活動の流れの確認 ② 4 ルールの確認 (5 min)	・ ヒントクイズ作成の課題 に必要な手順と説明を 再確認する。	・ 黒板やPCを使い、指示 が多くなり過ぎないよ う重要なポイントを共 通確認する。	・ 質問により生徒の理 解を確認しながら説 明する。	
	(2) Group Work③ Peer Correction (10 min)	・ 2 ペアでヒントクイズを 行い、互いに訂正やアド バイスを行う。	・ 机間指導し、色々な主 語や動詞を活用して表 現を豊かにするよう促 す。	・ 私語に注意させ、全 体発表を意識して 時間を使うよう促 す。	1 ー 言語活動 の観察 2 ー ワークシ ートのチェッ ク
	(3) Peer Correction (5 min)	・ 再度手直しし、教師に提 出する。	・ 机間指導	・ 添削用を提出させ新 しいヒントクイズ作 成に向かうよう声か けする。	
	(4)) Pair Work③ Peer Correction (15 min)	・ これまで作成したヒント クイズ①②の英文をペ アで協力し疑問文にし て、ワークシートに書く。	・ 机間指導し、be動詞や Wh-疑問詞を活用して肯 定文から疑問文に変え られるよう支援する。	・ 調べて分かることは 辞書や教科書を活 用させ答えを与えな いようにする。	
まとめ 2分	4. Review and Homework 5. 次回予告 (2 min)	・ 自己評価表に学習した表 現を1文書いて復習す る。 ・ ヒントクイズ①の疑問文 をワークシートに書いて くる宿題の確認	・ ワークシートを配布し、 ヒントクイズ①の疑問 文を書いてくる宿題を 提示する。	・ 次時のグループ内発 表に向けた準備を 意識づけする。	1 ー 自己評価 シートのチェ ック

(6) 本時の展開 (7 時間目) 『グループで協力し、ヒントクイズPart①②の発表を工夫しよう。』

	指導過程	学習活動		指導上の留意点	評価の観点 及び方法
		生徒の活動	教師の活動		
導入 13分	1. Greetings (3 min)	・ Wh-を使ってペア同士 でのあいさつ	・ 活動の支援	・ ペアで握手させ協働 意識を高めさせる	
	2. Warming-up (1) Review (5 min)	・ 色・形・動詞など既 習語句を発音練習する	・ 語句カードの提示	・ 単調にならぬようリ ズムで一人ずつみんな がリピートする	
	(2) 3 Hint Quiz (クエスチョン大魔 王ライティング) (5 min)	・ 楽しみながらクイズ と疑問文にするゲー ムで表現を視聴覚イ ンプットする。	・ ヒントクイズ後に、 これを疑問文にする ゲームを行う。	・ 受け身にならぬよう ヒント文をリピート 発音させながら進め る。	
展開 35分	3. Activity (1) 目標と活動の 流れの確認 ① ヒントクイズの 進め方の確認 ② 評価方法の確認 (5 min)	・ ヒントクイズの楽しみ方 と進め方、評価につい て、必要な手順と説明を 確認する。	・ 黒板やPCを使い、指示 が多くなり過ぎないよ う重要なポイントを共 通確認する。	・ 質問により生徒の理 解を確認しながら説 明する。	
	(2) 3 Hint Quiz (30 min)	・ 1ペアずつヒントクイズ を出題し、仲間にはリピー トさせながら進行・解 答・評価などを行う。	・ 発表後にフィードバッ クを行い、活動意欲が さらに高まるようにす る。	・ 私語に注意させ、主 体的に活動を行え るよう見守る。必要 なら支援に入る。	1 ー 言語活動 の観察 2 ー ワークシ ートのチェッ ク
まとめ 2分	4. Review and Homework 5. 次回予告 (2 min)	・ 自己評価表に学習した表 現を1文書いて復習す る。 ・ ヒントクイズ②の疑問文 をワークシートに書いて くる宿題の確認	・ ワークシートを配布し、 ヒントクイズ②の疑問 文を書いてくる宿題を 提示する。	・ 次時のグループ内発 表に向けた準備を 意識づけする。	1 ー 自己評価 シートのチェ ック